「美ら島ちゃーがんじゅー計画」

沖縄市立美里小学校　６年生　多和田　早希

　今年の二月、叔母が手術をして入院しました。私は母と一緒に見舞いに行きました。

「どうして手術をしたの？」

と叔母に聞くと、

「体の中にがんが見つかって、そのがんを取る手術をしたのよ」

「どうしてがんになったの？」

「生活習慣が悪かったのかな、食生活がまずかったかもしれない」

「どうやってがんを見つけたの？」

「十年ぶりに受けた沖縄市がん検診で見つかったの、もっと早く検診を受けていれば、早期発見治療ができて、手術しなくて済んでいたかもしれない」

「手術をしたら治るの？」

「これから病院に通いながら検診を受けて、治ったかを確認する必要があるんだ」

「いま何がしたい？」

「早く病院を退院して、早希とランチしに行ったリゾートホテルで、きれいな海を見てエステして、ランチして、のんびりしながら楽しい時間を過ごして、頭の中から不安を全て無くしたいな。元気になったらまたランチしに行こうね。」

という話しをしました。この話を参考に私が叔母にしてあげたいこと、考えた計画が、沖縄ならではの環境を活用した美ら島ちゃーがんじゅー計画です。

　沖縄のリゾートホテルと健康管理センターが一緒になった施設をつくります。そこではリゾートホテルに滞在してリゾート気分で健康診断を受け、エス

テやランチを満喫し自分の体へ感謝します。その後、検査結果にあたった生活習慣の改善提案を実践する研修を受けます。食事の面では理想とする食事を実際に実習し試食して日常生活に取り入れられるようにします。沖縄の薬草を取り入れた薬膳料理や昔の人の生活の知恵なども紹介してもらい沖縄の良さを伝承するような研修です。運動面では忙しくても生活時間を調整する方法や短時間で、できる運動法を習得する研修です。休養面ではその人が希望する計画案（海を眺める・森林浴・動物との触れ合い・ヘリコプターで空中散歩など）を提出してもらい可能な限り実践してもらう研修です。働き盛りでそんな余裕はないという時期の県民に一年に一回、一週間体験できる機会を与え、継続して体験してもらう計画です。これが実現できれば、叔母のようにつらい思いをする人が少なくなるのでないかと思います。

沖縄には沖縄ならではの素晴らしい環境がありますが、県民はそれが普通で、その良さに気づけていない面（ゴミ捨てマナー・長寿県転落など）が見られます。県民一人一人が沖縄の素晴らしさを再確認してくれれば、県民の意識が変わり、沖縄の環境は変わるのではないかと考えます。私も美ら島環境を守れる県民になれるよう行動していきたいです。